



本町地区の水道水の水源が 変わります

洞爺湖町の水道水がすべて軟水に

■問合せ 上下水道課水道下水道グループ ☎74-3008

本 町地区の水道水の水源が、入江と泉の水源から洞爺湖の水源に変更されます。

昨年の広報の9月号でもお知らせしましたが、本町地区の水道水は、2か所の水源から塩素にて滅菌し各家庭等に供給しています。この水源である入江の井戸水及び泉の湧水の原水で、水質基準にあるカルシウム、マグネシウム等の硬度数値及び蒸発残留物の数値が上昇傾向にありました。

そのため本町地区の方から「やかんや加湿器などに白いものが残る」との苦情が寄せられています。原因は水道水にカルシウム、マグネシウムなどのミネラル分が含まれており、これらが蒸発すると後に残るため、水の



新設された三豊送水ポンプ場

蒸発が繰り返される部分に白い異物となつて付着します。これはミネラル分ですので、人体への害はありません。しかし町では現状の硬度の上昇傾向の対策として、洞爺湖を水源とする工事を進めてきました。

た。

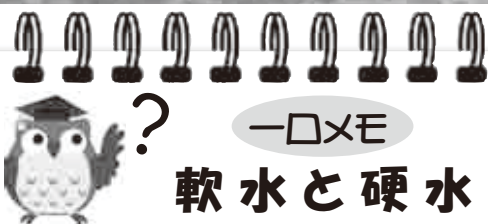
この水源は、洞爺湖温泉地区にも供給されていて、硬度も低く、水量及び水質が安定しています。この度工事が完了する目途が整いましたのでお知らせします。また、これにより洞爺湖町の水道水は、全て軟水で供給できることになりました。

■水源が変更になる区域

・本町1～8区、かつこう台、青葉地区、入江地区、泉地区、清水地区

■変更予定年月日

・平成26年12月24日（水）（但し、各家庭に新たな水道水が配水されるまで2日程度要する所もありますのでご了承ください。）



軟水と硬水

ミネラルウォーターは、よく軟水と硬水に分けられて表記されていますが、これは水に含まれるカルシウムとマグネシウムの量によって分類されています。

WHO（世界保健機構）の基準では、硬度が120mg/L以下を軟水、120mg/L以上を硬水といいます。簡単に言うと、カルシウムとマグネシウムが少ない水が軟水、多く含まれている水を硬水と呼びます。

一般的に軟水は、口当たりが軽く、硬水はマグネシウムが多いほどしっかりとした飲みごたえを感じるようです。

ヨーロッパの水は、ほとんどが硬水で、一方日本では生活用水の80%が軟水です。そのため、日本人は硬水になじみにくく、軟水が好まれる傾向にあります。

現在の硬度と蒸発残留物の状況

（平成26年9月17日水質検査報告より）

	硬 度 （水質基準 300mg/L）	蒸発残留物 （水質基準 500mg/L）
本 町 地 区	250mg/L	410mg/L
洞爺温泉地区	35mg/L	87mg/L
洞 爺 地 区	36mg/L	64mg/L